

基本構想骨子案に対する事前意見とその対応について

(1) 第1章～第4章（合同部会担当）

該当箇所	修正意見等	事務局の考え方
全般	市民に浸透する書き方、構成が望ましい(ダイジェスト版を作成する、市民だよりなどの広報で分かりやすく説明する、などでもよいと思う。) 中学生・高校生の社会科等の教材にするなど、10年後、20年後の沼津市を担う当事者意識を醸成するための計画になると良い。	市民や学生、子どもに伝わりやすいデザインとなるよう、冊子作製の際に留意するとともに、ダイジェスト版の作成も行いたいと考えている。
第1章 概要	市民会議やワークショップを経て、市民の意見を取り入れたこと、審議会委員にも公募で市民が参加していること、パブリックコメントを募集したことなど、総合計画の策定過程にどのように市民の意見を取り入れているのか、具体的に記載してはどうか。	総合計画としての冊子には、資料として策定に至るまでの会議や市民意見の反映等の実施経緯を記載したいと考えている。議決を受ける基本構想案への記載がふさわしいかは検討する。
第2章 まちづくりの基本理念 (下から2行目)	P3の下から2行目は「安全安心のもと」、P13は「・」あり。統一してはどうか。 P4の下から2行目は「安全・安心な生活を楽しめ」を「安全・安心な生活を楽しむことができ」に修正してはどうか。	P3に「・」を加えて統一する。 P4「楽しむことができ」に修正する。
第2章 まちづくりの基本理念 「動き出す 創り出す」	「創り出す」は良いが「動き出す」は、今まで動いていなかったことになる。新たなステップを踏み出すというようなニュアンスのある言葉が望ましい。	まちづくりの動きが目に見えてくることから、市民に伝わるイメージとして「(まちが)動き出す」イメージを発信したいと考えている。
第2章 まちづくりの基本理念 (下から4行目)	「高齢者を始めだれもがいきいきと活動できる」という表現は、高齢者が最優先される印象を受ける。⇒ 「子どもから高齢者まで誰もがいきいきと活動できる」と修正してはどうか。 ※子供の居場所づくりは今後重要となる。(子ども食堂をはじめ)	指摘を踏まえ修正を検討する。
第3章 将来都市像 第4章 都市のかたち 第5章 まちづくりの柱	第3章の「目指す将来都市像」について、「仕掛けていくぞ」「これから動いていくぞ」「創っていくぞ」という前向きなスローガンを前面に出し、第4章・第5章の打ち出し方もそのような基調(トーン)で統一してはどうか。例えば、「目指す将来都市像」は、「動き出す 創り出す 躍動する沼津を目指して」ではどうか。	第2章のまちづくりの理念で、委員ご指摘のような今後の10年のまちづくりの前向きな考え方、意気込み、基本姿勢をまずは打ち出したいと考えている。 そして、第3章の将来都市像は、どのようなまちになるのか市民がイメージしやすいものにしたと考えている。
第3章 将来都市像 〔躍動するまちとは〕 (3つ目の項目)	「県東部地域を牽引する中心市街地を形成し…」⇒ 「県東部の拠点都市として人にやさしい中心市街地を形成し…」に修正してはどうか。	中心市街地の目指す方向はご指摘のとおりだが、県東部の拠点都市として近隣市町の雇用等の受け皿ともなりうる活気と魅力にあふれる中心市街地をイメージしている。指摘も踏まえ、「ヒト中心の魅力的な都市空間の再編」に修正する。
第3章 将来都市像 〔～誇り高い沼津を目指して～〕	「私たち一人ひとりが・・・」のなかに、「人権を尊重すること」、「多様性を認め合うこと」、「共生社会」の3点について、追加してほしい。「多様な価値観」ではなく「多様性」を望みます。	「多様な価値観を尊重し、共有し合える」⇒「多様性を認め合い、尊重し合える」への修正を検討する。 併せて P7 まちづくりの柱1②の表現も検討する。
第4章 都市のかたち(上から3～4行目) 都市拠点である沼津駅	「都市拠点」の意味として「都市拠点＝沼津駅」という表現を「都市拠点である沼津駅周辺」としてはどうか。	指摘を踏まえ修正を検討する。

(2)第5章 まちづくりの柱

①元気・健康部会担当(柱1・柱5・柱6)

まちづくりの柱1	まちづくりの柱の中に「男女共同参画」という言葉が入ってもいいのでは。	柱1②の文面の中での表現を検討していく。
まちづくりの柱5 (上から1行目)	「次代を担う子どもたち」の表現について、同ページ④「未来を担う人材の育成」とあるので、「次代を担う」を「未来を担う」に修正してはどうか。	指摘を踏まえ修正を検討する。
まちづくりの柱5 (上から4～5行目)	「地域を支える人材」の表現について、同ページ⑤「地域を支える人材づくり」との整合を図るために「支える」の方が適切では。	指摘を踏まえ修正を検討する。
まちづくりの柱5 ③みんなで支える子育て	全体的に「・」(中黒)を多用しているように見受けられる。 P11③「子供の貧困・虐待」(貧困と虐待は並列か?)→「貧困や虐待」の方が優しい印象を受ける。	文面において修正を検討する。
まちづくりの柱5 ④未来を担う人材の育成	「インクルーシブ教育の推進」を追加して欲しい。	インクルーシブ教育については、基本計画の中で検討していく。
まちづくりの柱6 笑顔あふれる健康長寿のまち	表題は、例えば「健康で心豊かに暮らせる長寿のまち」 「笑顔あふれる健康で心豊かに暮らせるまち」 「笑顔あふれる健康で心豊かに暮らせる長寿のまち」ではどうか。 ※芸術文化があるため	指摘も踏まえ、「笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまち」に修正を検討する。
(上から1～3行目)	「スポーツの振興とも連携した健康づくりや自発的な芸術文化活動の支援、医療提供体制の充実に努める」の表現を ⇒ 「地域共生社会の実現に向けて、子どもからの高齢者まで誰もが心身ともに元気で健康に暮らせるよう、スポーツの振興とも連携した健康づくりを推進するとともに、自発的な芸術文化活動の支援や医療提供体制の充実に努める」ではどうか。 ※これからは、「地域共生社会」の理念の考え方は大変重要となるため。	指摘を踏まえ、「地域共生社会の実現」に関する表現を追加して修正する。
(上から4行目) あらゆる市民が分け隔てなく支え合いながら、笑顔のもとで健やかに暮らせるまちづくりを目指す。	「あらゆる市民」は市民を何かしら分類したうえで総括している印象。高齢者も障害者も含めてという意味か。「すべての」ではどうか。「笑顔のもとで」は「笑顔で」でよいのでは。 「すべての市民が支え合いながら、笑顔でいきいきと健やかに暮らせるまちづくりを目指す。」ではどうか。	指摘を踏まえて修正する。
①スポーツ・芸術文化の振興	「障害者スポーツセンターの設置」追加	①スポーツの振興の中の施策として、基本計画以下で記載が可能か検討していきたい。
②健康寿命の延伸	健康寿命という表現では狭くなってしまうため、広く「健康長寿の推進」ではどうか。	指摘を踏まえて修正する。
③高齢者に優しいまち	「・」の5つ目として「生涯活躍を目指す生きがいづくり」を追加してはどうか。※高齢者の社会貢献も大切	まちづくりの柱1①においても、高齢者の活躍やいきがいづくりを表現したいことから、両方で記載するかは調整する。
④誰もが暮らしやすいまち	・「障害のある人の就労の場の確保」の追加 ・「障害のあるひとの高齢化への対応の充実」の追加	④の「障害のある人の生活等の支援」の中に含まれていると考えており、施策については基本計画で検討していく。
④「・」5つ目 地域福祉活動の推進	「地域福祉活動」では、少しわかりづらいか。 「市民が支え合う地域福祉活動の推進」ではどうか。	ボランティアなどについてはまちづくりの柱1③にも記載していきたいが、文面にする上では指摘を踏まえて検討する。

②産業・観光部会担当(柱3・柱4)

まちづくりの柱4 (上から5～6行目)	「多くの人に行ってみたい、…と思われるまち」⇒ 「多くの人が行ってみたい、…と思うまち」に修正してはどうか。	指摘を踏まえ修正を検討する。
------------------------	---	----------------

③快適・安心部会担当(柱2・柱7・柱8)

まちづくりの柱2 (上から1行目)	「本市の中心である」という表現を「本市の中心市街地である」ではどうか。	指摘を踏まえ修正を検討する。
①沼津駅周辺の整備	高架下を利用し、文化・教育・産業の発信拠点とする観点も加えてほしい	指摘を踏まえ、文面及び基本計画の中で表現を検討していく。
②都市骨格の… ・公共交通	公共交通の前に、「快適」の表現を入れるのはどうか？ 例えば、バスレーンの設置(PTPS:公共車両優先システム)、優先信号制御を行うことやLRT計画などが考えられる。	指摘を踏まえ、文面及び基本計画の中で表現を検討していく。
まちづくりの柱2 (上から1行目)	「本市の中心である」という表現を「本市の中心市街地である」ではどうか。	指摘を踏まえ修正を検討する。